

平成 27 年 第 6 回臨時会

# 岩見沢市教育委員会会議録

平成 27 年 8 月 4 日 開会

平成 27 年 8 月 4 日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成27年 第6回臨時会  
岩見沢市教育委員会会議録  
(平成27年8月4日)

○本委員会に付議した議件

1 議案第59号 岩見沢市教科用図書の採択について

○本委員会に出席した者

委員長	武藏輝彦
委員	秋山信也
委員	大橋弘道
委員	渡邊律子
教育長	舩甚和俊

教育部長	名和田勉
子育て支援推進担当次長	鈴木栄基
学校教育課長	加藤信浩
指導室長	兼平晃成
事務局学校教育課総務係長	武田弘毅
事務局学校教育課総務係	虎谷淳

午後 2 時 0 0 分 開会

○武蔵委員長 ただ今から、平成 27 年第 6 回教育委員会臨時会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、秋山委員さんをお願いいたします。

初めに、議案に対する提案理由について、説明を求めます。

○名和田教育部長 それでは、議案第 59 号の提案理由についてご説明いたします。

岩見沢市教科用図書の採択について 平成 28 年度から使用する中学校用教科用図書の採択について、ご審議を願うものであります。

以上です。

○武蔵委員長 それでは、日程番号 1、議案第 59 号 岩見沢市教科用図書の採択について を審議いたします。

説明をお願いいたします。

○兼平指導室長 岩見沢市における、平成 28 年度から使用する、中学校用教科用図書の採択についてご協議をいただきます。

去る 6 月 1 日、第 1 回岩見沢市教科用図書調査委員会を開催し、岩見沢市の平成 28 年度から使用する中学校用教科用図書の調査について諮問いたしました。

調査委員会では、各教科別に小委員会を構成し、その後、60 日間にわたり調査研究を行ってまいりました。

去る 7 月 28 日、調査研究の結果について、別紙のとおり調査委員長である吉永洋光陵中学校長より、武蔵教育委員長に答申されたところでございます。

なお、調査委員会における調査研究にあたりましては、北海道教育委員会作成の採択参考資料、同じく小中学校特別支援学級教科用図書採択参考資料、教科書発行会社の教科書編集趣意書を参考として、採択基準調査研究の観点に基づいて調査研究を進めてまいりました。

これまでの経過につきましては、お手元の資料に示したとおりでございます。

以上です。

○武蔵委員長 ただ今、説明がございました。

平成 28 年度から使用する中学校用教科用図書の採択につきまして、これから審議を進めてまいります。

委員の皆様は、答申書と採択参考資料、それから教科書の見本にそれぞれ目を通されていると思います。

それでは、教科ごとに説明をいただきながら、採択を進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、国語科について指導室長、説明をお願いします。

○兼平指導室長 最初に国語科についてご説明いたします。

国語科は 5 社の教科書について調査研究いたしました。各社とも、生徒が意欲的に学習に取り組むことができるよう、基礎的、基本的な内容の繰り返し学習や、補充的、発展的

な学習を位置付けるなどの構成上の配慮のほか、家庭でも主体的に自学自習できるよう丁寧に記述するなど、編成上の配慮工夫がされております。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 それでは、国語科についてご意見をいただきますが、全ての教科書が検定を通過しており、また、各社がそれぞれに工夫をされているものであり、どの教科書を使っても問題がないということを前提に進めさせていただきます。

それでは、お願いいたします。

○大橋委員 教科用図書の見本や関係資料等を、事前に届けていただいておりますので、目を通し検討いたしました。

先ほど指導室長の説明にもありましたが、私も各社とも生徒が意欲的に学習に取り組むことができるような編成上の配慮工夫をされているように思いました。

その中で、私は、教育出版の教科用図書が単元構成において、領域事項をバランスよく配置されていると思いました。また、学習の手引きが、3段階で何を学ぶのかが明確になっており、生徒が自分で考え解決するという学びに適している点が、他社に比べて優れているように考えました。

また、光村図書及び教育出版の教科書はともに、優れた作品、話題の作品などを取り上げており、作品数が充実していると感じたところです。

以上です。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

○秋山委員 今、大橋委員も述べられましたが、いずれの教科書も工夫がなされており、どれを選んでも遜色ないと思います。

光村図書は、ポスターセッションでは、発表するときの留意事項を箇条書きで示すなど、聞き手を意識して発表するよう工夫されていて、パネルディスカッションでは、例をあげて、それぞれの役割を解説するなど工夫されています。また、教育出版は、学習の手引きなどに工夫がされているということで、光村図書と教育出版が同程度の構成になっているように思います。

○渡邊委員 教育出版と光村図書は、私も目に留まったのですが、今、国語力というものが、全教科の基本、要であると考えられる中、岩見沢の生徒たちの学力も上がってきていますが、もっと上のレベルを目指すため、私は光村図書を推したいと思いますし、先生方の指導力を十分発揮できる教科書ではないかと思いました。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

今、お三方から教育出版、光村図書について、ご意見がございました。

私も、他の学校図書、東京書籍、三省堂の教科書についても、それぞれ工夫がされているように思うのですが、教育出版と光村図書が良いと考えておりますので、この2社に絞って協議をしたいと思いますがよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、2社採択するわけにはいきませんので、絞りたいと思います。今、大橋委員からは、単元構成や年間のスケジュールを工夫されている教育出版がいいのではないかという意見が、渡邊委員からは、国語力の向上が求められている中、もっと上のレベルを目指す教科書という意味で、光村図書がいいという意見がそれぞれ出ています。

秋山委員にも絞っていただくとしたら、どのように考えますか。

○秋山委員 これまで教育出版が使われてきたということもあるのですが、もう少し上のレベルを狙うため頑張っていくという観点から、今回は光村図書を選択したほうがいいのかと思います。

3年ごとの教科書の選定でございますので、そこら辺は様子を見ながら、また3年後に改めて教科書を選定していくということでよいかと感じています。

○武蔵委員長 はい。私の意見も少し言わせていただきますが、教育出版の教科書については、いろいろな例示が具体的でありまして、授業を進めるうえでは、非常にやりやすい教科書なのかと思います。反面、具体的すぎるという部分もありますので、題材からの広がりという点では、設問に誘導されて、ひとつの方向に向かっていくような教え方になるのかなというところがあります。

光村図書の教科書は、どちらかというところ、題材から発展させて、いろいろなことを吸収させる、考えさせるといった部分に重きを置いているように感じます。

今、岩見沢市の教育の課題と申しますか、学力の向上という部分の課題で言うと、やはり応用力、発展力というものが、子どもたちにこれから求められる力ということにもなりますので、ぜひこちらの方向の力を伸ばしていけるような教科書を使っていただければと思っており、私も光村図書を推したいと思います。

意見としては、3対1となります。大橋委員さんご意見をお願いします。

○大橋委員 2つの会社に絞られました段階で、別の角度から意見を申し上げたいと思います。やはり、生徒の立場になって考えましょう。生徒が見通しをもって学習し、課題解決の力を伸ばすという観点から、私は教育出版の教科用図書がよいと考えております。

さらに、これまでの各学校での指導の積み重ねを考慮すると、私は、現行教科書の継続がいいのではないかと考えたものです。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

結果としては、渡邊委員が光村図書、秋山委員も光村図書、私も光村図書を推しているということになります。大橋委員の意見もごもっともかとは思いますが、ここで、光村図書に決めたいと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、国語科につきましては、光村図書に決めさせていただきます。

続きまして、書写に移ります。説明お願いいたします。

○兼平指導室長 書写についてご説明いたします。

書写も国語と同じ5社の教科書について、調査研究いたしました。

各教科書とも、生徒が意欲的に学習に取り組むことができるよう、基礎的、基本的な学習や、補充的、発展的な学習を位置づけるなど、構成上の配慮のほか、学習したことを実生活や家庭生活で活かすための事例を取り上げるなど、編集上の配慮がされております。

それぞれの特徴的な内容については、答申書に記載されておりますのでご覧ください。

以上です。

○武蔵委員長 それでは、書写について皆さんのご意見を伺いたいと思います。

各社、構成としては国語と連動したような作り方をしておりますが、書写として使いやすい教科書を選ぶという観点で、決めていければと思います。

これについては、大橋委員が専門でございますので、まず、ご意見をお願いします。

○大橋委員 楷書の基本点画の指導において、その筆圧を数字の大きさに強弱をつけて指導しているのが、教育出版の教科書です。その基本点画の指導において、ポイントに共通する擬態法を使用して説明しているのが東京書籍です。この2社の配慮工夫が、私はいいと思えました。

また、この2つの教科書では、国語科で学習した古典の文章を用いているという点においても、学習への興味関心を高める効果があると思います。

以上です。

○武蔵委員長 筆の動かし方、力の入れ方に関するご意見をいただきました。

そのほかご意見ございませんか。

いずれの教科書も、丁寧に指導しやすく構成されているというふうに感じています。

○渡邊委員 必ずしも国語と同じ教科書でなくてもよいということであれば、先生のほうで書写を指導するために適しているのは教育出版ではないかと思えます。

○武蔵委員長 東京書籍と教育出版という名前が出ていますが、秋山委員どうでしょう。

○秋山委員 私も教育出版は、楷書の基本点画の指導において、数字を用いている点分かりやすくよいと思えます。

○大橋委員 先ほど、2つの教科書について意見させていただきましたが、もうひとつ目についたのが、行書の指導の所でした。教育出版の教科書は行書の特徴について、解説が非常に具体的でわかりやすいというふうに思いました。

そのような理由で、この教科書を推奨したいと思います。

○武蔵委員長 今までですと、書写は国語の教科書に習って同じ出版社としておりましたが、今回は非常に特徴があるというご意見をいただきましたので、教育出版に決定をさせていただきます。よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、書写につきましては、教育出版ということで決めさせていただきます。

続きまして、社会科について協議いたします。

説明をお願いいたします。

社会科については、それぞれの分野ごとに進めてまいりたいと思います。

○兼平指導室長 社会科について、ご説明いたします。

社会科は、地理が4社、歴史が8社、公民が7社、地図が2社について調査研究いたしました。

初めに、地理4社についてご協議をお願いいたします。

各教科書とも、地理的な見方や考え方の育成を図るとともに、生徒の学習意欲を高めるという、主体的に学習に取り組むことが出来るような工夫がされております。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 はい、それではまず地理の教科書について、審議したいと思います。

ご意見のある方お願いしたいと思います。

○秋山委員 東京書籍と教育出版に絞りました上で、2社は遜色ないと思いました。

ただ、特徴として北海道と関わりのある内容を多く取り上げているのは教育出版であると思います。今まで使っている教科書ということもございしますが、随所に工夫改善が図られているのではないかなと感じました。

○武蔵委員長 教育出版がよいということですね。

○渡邊委員 今まで使っていたということもありますが、教育出版は「ふりかえる」コーナーがあり、他の教科においてもそうですが、基礎確認をきちんとしているということがありますので、私も教育出版がいいと思います。

○武蔵委員長 はい、大橋委員はいかがですか。

○大橋委員 4社のうち、私は教育出版がアプローチの部分で地理スキルアップという部分が設けられていて、そこで地理的議論を身に付けられるような工夫がされているところが印象に残りました。

もう少し掘り下げますと、秋山委員も触れておられましたが、北海道と関わりのある内容を、どのぐらい取り上げているか、アイヌの人たちの歴史文化をどのぐらい多く取り上げているかということを見ていた時に、教育出版の教科書が目についたところです。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

私も教育出版がいいと思います。国内のことだけではなくて、国外の部分もバランスよく学べるようになっていきます。

皆さん教育出版がいいということですので、地理については教育出版に決定したいと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、地理は教育出版に決定とさせていただきます。

続きまして、歴史に移りたいと思います。

指導室長お願いします。

○兼平指導室長 社会科歴史7社について、ご説明いたします。

各教科書とも、基礎基本の確実な定着を図るとともに、生徒の興味関心を活かした、自主的、自発的な学習が進められるよう工夫構成されております。

ただ、一部の教科書について、教科書見本展示会閲覧者の中から、戦争部分の記述など、一部の記述のあり方に疑問や異論が数件寄せられており、事前に委員の皆さんにお示しをしたところでございます。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 はい、それでは歴史の教科書につきまして、委員の皆様からご意見をお聞きしたいと思います。

非常に出版社が多い教科ではございますが、お願いします。

○兼平指導室長 すいません、大変失礼いたしました。

社会科歴史8社でございます。失礼いたしました。

8社です。よろしく願いいたします。

○武蔵委員長 8社に訂正をお願いしたいと思います。

○大橋委員 8社というたくさんの教科書の量ではございますが、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培うという、この分野の目標に照らしまして、その点において、教科書の中でいくつかのコーナーを設けて、歴史について考察する力や、説明する力の育成を図っているという点で、教育出版と東京書籍の教科書に配慮工夫が見受けられます。

○武蔵委員長 8社と多いので、絞っていききたいと思います。推薦される会社がありましたら、お願いしたいと思います。

○渡邊委員 教育出版の教科書は、先ほど他の教科でもそうでしたが、振り返って読み解くコーナーというものを設けて、考える力や説明する力を養っているということと、北海道に関わるアイヌの人たちの歴史や文化ですとか、シャクシャイン像の写真を扱っているということで、教育出版がよろしいと思いました。

○武蔵委員長 秋山委員お願いします。

○秋山委員 私は、学習内容を補充する部分を設けているということで東京書籍、「ふりかえる」コーナーを設けている教育出版、この2社に絞ってはどうかと思います。

○武蔵委員長 今回出てきた教科書では、神話を取り上げたり、自由社と育鵬社では近代の戦争の部分で、いろいろとこだわった記述が多かったかなと感じております。ただ、そういった部分はちょっとバランスも悪いですし、教科書としてはどうなのかと思うところもありました。書かれている内容がどうであるのかということとは別に、そういうことを感じています。

そういった点と、社会科の何を勉強するのかという部分を照らし合わせて、やはり教育出版、東京書籍のいずれかがよいのではと感じています。

皆さん、大体この2社からというようなご意見ですので、教育出版もしくは東京書籍のいずれかに決めていきたいと思えます。

それでは、再度ご意見を伺いたいと思えます。

○大橋委員 私も2社の教科書についての意見を述べましたが、さらに付け加えますと、内容の程度、分量、構成のバランスを考えると、教育出版の教科書がいいと思えます。それから、北海道について取り扱う割合については、渡邊委員と同様の意見です。

○武蔵委員長 渡邊委員は、教育出版がいいということでございます。

○秋山委員 私も教育出版がいいと思えます。

○武蔵委員長 お三方、教育出版ということでございますので、社会科歴史については、教育出版に決定させていただきます。

続きまして、公民の教科書に移りたいと思えます。

説明をお願いします。

○兼平指導室長 社会科公民、7社について説明いたします。

いずれの教科書も、生徒が意欲的に学習に取り組むことができるよう、基礎的、基本的な学習や、補充的、発展的な学習を位置づけるなどの構成上の配慮のほか、学習したことを学校生活や家庭生活で活かすための事例を取り上げるなど、編集上の配慮工夫がされております。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されているとおりでございます。

以上です。

○武蔵委員長 はい、それでは公民について、皆様のご意見を伺いたいと思えます。

○秋山委員 地理、歴史ともに教育出版といたしましたが、内容的に公民の分野でも、学習課題に対応した「ふりかえる」コーナー、あとステップ1では基礎的事項の確認、ステップ2では社会的事情について説明と、段階的に取り組めるような工夫がされているということで教育出版がいいと思えました。

○渡邊委員 東京書籍も、栗山町の議会制度ですとか、そういう身近な事柄を載せておりますが、教育出版のほうが、見た目、ページ配置のバランスがよく、また、倶知安町のみんなで親しむ雪条例とか、他にも地元北海道のことを載せていただいて、そこから地方自治を考えていくことができますことから、教育出版を推したいと思えます。

○大橋委員 この分野の教科書においても、私は、平和で民主的な国家社会の形成者として、必要な公民的資質の基礎を養うという観点から検討いたしました。

その点において、学習のポイントとなる部分で、話し合い活動などの、表現活動を取り入れている点ですとか、主体的な学習を促すという内容で特色がみられた東京書籍、教育出版の2社が印象に残りました。

○武蔵委員長 公民的分野には、その中でもいろいろ分野があつて、自らが参加するまちづくりの部分、それから議会制度と民主主義の部分、憲法の部分とありますけれども、特

に憲法に関する記述の中で、自由社が9条の解説を結構詳しく書いております。偏って書いているということではなくて、このような解釈があるというパターンを示して、それぞれ、戦争などについて、こういう考えがあるというのを記述しています。それから、憲法の制定のところでも、GHQの関与がどれぐらいあったというような記述もされておりました。

教育出版については、その辺が自主的に作られたというようなニュアンスの記述になっているので、ちょっと昔の歴史の教科書のような印象は受けました。受けましたけれども、これもあくまでも教科書で使う段で使いやすいか、子どもたちにどう理解させるかということを考える必要があります。自由社は大人が読んだらいい教科書かなというような気がいたしております。

それから、後ろのほうの資料集、これも各社工夫されておりますが、自由社は憲法全文をそのまま載せているのですが、教育出版含め他社いろいろと工夫していて、全文載せていても注釈が入っていたりということで、子どもたちにも理解しやすいような作りになっているように感じます。

今、皆さんから意見が出されましたが、教育出版と東京書籍の2社に絞って進めてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、付け加えるご意見等はございますか。

○大橋委員 付け加えていただく点としては、学習課題に対応させていろいろ工夫して、社会の動きを考査する学習を重視しているのが、教育出版の教科書のように思います。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

他にはございませんか。

教育出版ということで、皆さんの意見が一致していると思いますが、決定してよろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、公民につきましても、教育出版ということでお願いをいたします。

続きまして、地図に移ります。

地図について、説明をお願いします。

○兼平指導室長 地図については、2社について調査研究をいたしました。

地図は、社会科やその他の教科書と一体的に使用することによって、効果が一層高まるものです。生徒が地域を調べる必要な情報が載っていると同時に、見て楽しくわかりやすい地図帳が必要だと考えます。

いずれの地図帳も、生徒が興味関心を持って、日本、世界の諸地域への理解を深められる工夫がなされております。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 はい、それでは地図、これは2社ということです。ご意見をいただきたいと思えます。

○大橋委員 私は帝国書院の地図帳は、社会科の地図帳として、歴史的な分野や公民的な分野などにも活用できるように、関連資料が掲載されており、こちらの地図帳がふさわしいと思えます。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

渡邊委員いかがですか。

○渡邊委員 大橋委員と同じことを感じました。

○武蔵委員長 秋山委員さんお願いします。

○秋山委員 今まで帝国書院を使っておりますが、以前よりも工夫改善がみられ、衛星画像などを用い、日本と世界の諸地域の理解を深められる地図帳ではないかなと思えました。

○武蔵委員長 それでは、帝国書院がよいというご意見でございますので、地図につきましては、帝国書院で決定とさせていただきます。

それでは、社会科が終わりまして、数学に移りたいと思えます。

説明をお願いいたします。

○兼平指導室長 数学についてご説明いたします。

数学は、7社の教科書について、調査研究いたしました。

どの教科書も、全体的に丁寧な作りになっており、扱う教師及び生徒・保護者への配慮もなされております。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 はい、それでは数学について、これも7社ありますので、まず、2、3社に絞って、進めていきたいと思えますが、皆様のご意見を伺いたいと思えます。

渡邊委員いかがですか。

○渡邊委員 東京書籍は全ての節のところに導入部分があり、生徒に自分で考えさせて、やっていくという章立てになっているような気がします。私は東京書籍を薦めたいと思えます。

○武蔵委員長 一つまで絞らなくてもよいですが、わかりました。

大橋委員、いかがでしょうか。

○大橋委員 7社のうち、私は東京書籍、教育出版、啓林館が、小学校算数の学習内容との円滑な連携が図られているという点で、目に留まりました。

さらに、誤答例について、学び直しを豊富に取り上げている点では、東京書籍と教育出版。また、北海道の素材を取り上げている点でも、この2社が豊かだと思えました。

付け加えて、冒頭で申し上げたように、小学校との学習の連携について、小学校算数で育ててきた数学的な考え方を、中学校でも継続して培って定着できるように配慮している

のが、教育出版の教科書だと思いました。小学校の教科書とのつながりを考えると、教育出版の教科書が望ましいのではないかと思ったところです。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

秋山委員、いかがですか。

○秋山委員 東京書籍、教育出版、啓林館の3社に絞られるのではないかと思います。

吹き出しの工夫、生徒自ら考えさせる配慮、北海道の素材を取り入れていることなどで差が出てくるかと思いますが、東京書籍は総合的に高く評価され、教育出版については付録巻末が充実しています。問題数自体は少ないものの、補充問題とのリンクが充実されている。啓林館は、全体的に説明が容易で補充問題等も充実している。この3社に絞っているのかなと思います。

○武蔵委員長 数豊富の中で、絞るのも大変ですが、啓林館は分冊ということで、非常に工夫されています。ただ、これをうまく使っていけるかという疑問が少しあります。やる気のある子は、自分でもどんどん進んでいけるような作りになっているのかなというふうには感じています。

やはり、東京書籍、教育出版は、どちらも使いやすいというふうに感じています。

東京書籍、教育出版2社に絞ってよろしいですか。

先ほど、大橋委員からは、小学校との学びのつながりということで、教育出版がいいのではないかというお話がございました。

渡邊委員は、東京書籍がいいということでした。

○渡邊委員 東京書籍のほうでも、小学校の算数との連携は図られていて、また、誤答の学び直しというのも出ていると思います。

あとは、問題数とその領域で均等にあるというような、もちろん指導の先生たちの使い方かとは思いますが、私は使いやすさを重視して考えました。

小学校との連携は大丈夫だと思います。

○秋山委員 私も、東京書籍がいいのではないかと思います。工夫が豊富にされており、誤答、学び直しなどに重点を置いています。できる子はどんどん進んでいくのでしょうか、ちょっと遅れた子がどうやって見直していくのかという部分の対策も充実させているのではないかなと思います。

○武蔵委員長 東京書籍が2人と、教育出版が1人ということです。小学校とのつながりという点では、小学校は教育出版を採用しておりますが、考え方が間違いということではありませんが、その点は割り切って考える必要があるかと思います。学習内容については、同じ水準を充たしていると思いますので、その部分を切り離して考え、どのレベルを狙って問題を作っているかという点を考えると、東京書籍のほうが、ふさわしいかなと感じているところです。

3対1になりました。そういうことで、東京書籍に決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、数学につきましては、東京書籍に決定をさせていただきます。  
続きまして、理科に移ります。

理科について、説明をお願いします。

○兼平指導室長 理科については、5社の教科書について、調査研究いたしました。

理科は、子どもたちが知的好奇心や探究心を持って自然に親しみ、目的意識を持った観察、実験を行うことにより、科学的に調べる能力や態度を育てるとともに、科学的な認識の定着を図り、科学的な見方や考え方を養うことが大切となります。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 それでは理科の教科書について、ご意見を伺いたいと思います。

○秋山委員 教育出版については、小学校全学年までの学習が既習事項であれば、小中学校の学びの連続性を意識した内容構成になっているかと思えます。あとは、单元ごとに見通しを持った学習ができるような工夫がされております。

東京書籍は、教科書の構成が問題解決、仮説、実験的な内容になっていると感じました。

○大橋委員 私も、秋山委員と同じようなところが特長的で、配慮があると考えたところ  
です。

教育出版の教科書は、单元ごとに見通しを持った学習をできるように工夫されていますし、東京書籍の教科書は、学習すべき内容が見やすく掲載されているという点で、2社は生徒の自主的、効率的な学習の促進という点から、配慮がなされていると思えました。

○渡邊委員 私も、東京書籍と教育出版がいいと思いますが、教育出版のほうが、单元ごとに見通しを持って学習ができるような工夫がありますし、さらに单元ごとに練習問題によって、きちんと知識を定着させていけるような形になっていると思えますので、私は教育出版がよろしいかなと思います。

○武蔵委員長 5社それぞれ、工夫をされていて、啓林館は実験の部分などで非常に突っ込んだ学習になっているかと思えます。ただ、分野ごとに、化学、物理系、生物が入っていて、その並びを考えると、東京書籍や教育出版のほうが、流れとしては使いやすいのかなと感じました。

こちらも、東京書籍か教育出版かということになるろうかと思えます。

どちらがよいか言っていただければ、ありがたいと思いますが、いかがでしょうか。

○大橋委員 先ほどの意見に補充させていただきますと、秋山委員も触れておられましたが、小学校全学年での既習事項を記載しているという点で、小中学校の学びの連続性を意識した内容構成になっているのが、教育出版の教科書だと思えました。

以上です。

○武蔵委員長 渡邊委員も教育出版が使いやすいだろうということでした。

○秋山委員 私も教育出版が、学年末の練習問題などがきちんと掲載されて、短中期、長

期的な学習の振り返りができる構成になっているという点で教育出版がいいかなと思います。

○武蔵委員長 はい、それでは、皆さん教育出版ということです。單元ごとに特徴があって、得意な分野がそれぞれの教科書で別なのかなという感じもしましたが、理科については、教育出版ということで決めさせていただきます。

続きまして、音楽に移りたいと思います。

説明をお願いいたします。

○兼平指導室長 音楽については、2社の教科書について調査研究をいたしました。

音楽は、生徒の音楽経験を豊かにし、豊かな情操を養うことを目標に、思いや意図を持って表現したり、味わって聞いたりする力を育成すること。それから、音楽を知覚し、その良さや特質を感じ取り、思考判断する力の育成を一層重視するなどの観点に基づいた学習を、小学校から中学校へ円滑に接続し、さらに高めていくことが大切であると考えます。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 はい、それでは音楽の教科書は2社ということでございますので、2者択一になろうかと思いますが、ご意見をいただきたいと思います。

○大橋委員 先ほど他の教科で言ったことと、同じような言い出しになります。小学校から中学校への円滑な接続の大切さについて、指導室長の説明もありましたが、同様に、この点から私も検討させていただきました。

音楽活動の基礎的な能力を伸ばすという点において、小学校から中学校への円滑な接続を考えると、教育出版の教科書がよろしいかと思いました。

以上です。

○武蔵委員長 はい、その他いかがでしょうか。

○秋山委員 私も教育出版のほうがいいと思います。教材の興味関心を高めたりするための、紙面の工夫が教育出版のほうがあるように感じました。

○渡邊委員 私はあまり音楽が得意ではありませんが、2社の違いは教育出版のほうが見やすいというふうにとりました。それから、具体的な指導の工夫が明確な編集になっているのではないかなと思いました。

○武蔵委員長 指導しやすく子どもたちが興味を持てる教科書が求められるかと思いますが、どちらも工夫されているようですが、皆さんの意見は教育出版ということですので、そのように決定したいと思います。

よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは音楽につきましては、教育出版に決定をいたします。

続きまして、美術に移ります。

説明をお願いいたします。

○兼平指導室長 美術については、3社の教科書について、調査研究いたしました。

各社とも実物大にこだわり、作者の息遣い、筆遣いを伝え、迫力のある作品紹介をする工夫があり、発達段階も考慮した構成になっております。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 はい、それでは美術について、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

○渡邊委員 子どもたちに、実物と同じような絵を見せるということは非常に難しいと思いますが、光村図書の教科書では、子どもの好きなピンク色を使ったり、実物に近いものを表現しています。装丁とか写真が美しいですね。

私は、光村図書を薦めたいと思います。

○武蔵委員長 他にいいかでしょうか。

○大橋委員 3社の教科書それぞれに特色があって、いずれも生徒の学習に使わせてあげたいという気持ちでおりますが、絞らなければなりませんから、北海道について取り上げている点にこだわってみました。

光村図書の教科書は、北海道の文化についての理解が深まるように、十分配慮されておりますので望ましいかなと思いました。

以上です。

○秋山委員 内容的には実物大にこだわったり、各社ともに工夫が見受けられますが、差が出た点としましては、今、大橋委員が言われたように、光村図書が北海道の文化の理解を深めるために、アイヌ文化や伝統工芸品などの作品を紹介されているということが大きいかなと感じました。

○武蔵委員長 各社工夫を凝らして、用具の使い方などきめ細かい指導ができています。最終的には、子どもたちの心を捉える美しい作品を教科書として掲載しているということと、皆さん言われたように北海道に関係のあることを掲載しているということで光村図書がいいだろうと感じました。

それでは、皆さん光村図書がいいということですので、決定してよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 美術については、光村図書に決定をいたします。

続きまして、保健体育に移ります。

説明をお願いいたします。

○兼平指導室長 保健体育については、4社の教科書について、調査研究いたしました。

保健体育は、各社とも学習指導要領の目的との関連を押さえ、内容の取扱い、編成上の留意点などそれぞれに特色が出ております

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

- 武蔵委員長 保健体育は4社です。皆様のほうからご意見をいただきたいと思います。
- 渡邊委員 学研の教科書は、知識、技能の習得、活用関係で、インターネットの使用が体に及ぼす悪い影響について取り上げるなど、探求しようという子どもたちが主体的に学習できるような内容にしているところが非常にいいのではないかと感じました。
- 秋山委員 全体的には、大きな差はないように思いますけど、使いやすさとか、主体的な学習を積極的に取り上げている点で学研の教科書はいいと感じました。東京書籍については、写真が見やすくなったようですが、全体的に工夫されていて、使いやすい学研がいいと思います。
- 武蔵委員長 学研がいいというご意見です。
- 大橋委員いかがでしょうか。
- 大橋委員 はい、他の委員さんと同様の意見になるかと思いますが、学研教育みらいの教科書は、生徒の主体的学習を促す内容が非常に多く取り入れてられていると感じました。
- 私もこの1社に絞っていましたが、さらに、小・中・高の継続性を考慮しても、この教科書がいいのではないかと感じました。
- 以上です。
- 武蔵委員長 それでは、皆さん、学研ということですから。おそらく、学研の場合は保健体育に力を注いでいるということもあり、長けているのかなという気もいたします。
- それでは、保健体育については、学研ということで決定をしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

- 武蔵委員長 そのように決定をいたします。
- 続きまして、技術家庭につきまして協議いたします。
- お願いします。
- 兼平指導室長 技術家庭については、3社の教科書について、調査研究いたしました。
- 各社とも、学習意欲の喚起につながるような豊富な図や写真を採用し、利用しやすい教科書となっております。
- それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。
- 以上です。
- 武蔵委員長 はい、これも技術と家庭別々に採択をするということになります。
- 初めに、技術分野のほうからお願いしたいと思います。
- 皆様のほうからご意見をお出しいただければと思います。
- 秋山委員 各社とも、図や写真などがすごく見やすく選択されて、どこも遜色はないと思います。デジタル教科書との関連性がある表記であったり、拡張性のある教科書と考えられるという部分では、東京書籍がいいのかなと思います。
- 他の部分でも、豆知識に、学習内容に関して知っておくと便利な記述が豊富であるという点では開隆堂、実習での作業内容が段階を経て掲載されて、常に作業等の写真が構成さ

れているという点では教育図書が工夫されているかと思います。

東京書籍は、バランスよく作られていると感じました。

○武蔵委員長 東京書籍が、いいだろうという意見でございます。

○渡邊委員 東京書籍は資料集も兼ねているというところが非常に使いやすいと思います。教科書の他にもう1冊資料集が必要になっても大変ですから、学習意欲を喚起する内容の資料と1冊になっているということと、サイズも使いやすいということで東京書籍がいいと思います。

○武蔵委員長 大橋委員どうですか。

○大橋委員 はい、私も2人の委員の意見と同様で、東京書籍の教科書が非常に図や写真が見やすく配慮が届いていると思いましたし、また、生徒の学習意欲を喚起する内容になっているということで、東京書籍の教科書は素晴らしいと思いました。

○武蔵委員長 はい、皆さん、東京書籍が非常に使いやすく、見やすい、わかりやすいと感じたようです。私も同感です。

それでは、技術分野につきましては、東京書籍ということで決定してよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、そのように決定いたします。

続きまして、家庭分野について、ご意見を伺いたいと思います。

出版社については、技術分野と同じ3社ということになっています。

○大橋委員 ここでも、先ほどの技術のときと同様に、東京書籍の教科書は非常に見やすく、生徒の学習意欲を喚起する教科書であり、ふさわしいと感じました。

○武蔵委員長 はい、渡邊委員どうですか。

○渡邊委員 学校の現場の先生のことを考えると、先の技術科と同じ教科書を選択したほうが、指導しやすいように思いますし、その内容も東京書籍の教科書は写真などがいいなと感じました。

○秋山委員 私も先ほどと同じく、非常に見やすいという部分と、教科書の関連性という点で、技術分野と同じく拡張性のある教科書として考えられる東京書籍の教科書がいいのではないかと感じます。

○武蔵委員長 はい、皆さん、同様に東京書籍がよろしいというご意見であります。

それでは、家庭分野につきましても、東京書籍ということで、決定をさせていただきたいと思います。

それでは、続きまして、英語の教科書に移りたいと思います。

説明をお願いいたします。

○兼平指導室長 英語については、6社の教科書について、調査研究いたしました。

英語は、聞くことや読むことを通じて得た知識などについて、自らの体験や考えなどと結びつけながら学習し、話すことや書くことを通じて、発信することが可能となるよう、

技能総合的に育成する指導を充実することが求められております。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 はい、それでは英語の教科書について、皆様からご意見をいただきたいと思っております。

これについては、6社の中からということになります。いかがでしょうか。

○渡邊委員 東京書籍ニューホライズンで、ユニットごとに聞く、それから話す中心のコミュニケーションで進めていくのですが、それが最後に総合型にまとめ活動ができるというような内容になっていますので、私は東京書籍を薦めたいなと思っています。

○武蔵委員長 はい、渡邊委員は東京書籍ということであります。

○大橋委員 6社の教科書のうち、私は、東京書籍、開隆堂の2社の教科書が、コミュニケーション能力の基礎を養うという点において、十分配慮工夫が図られていると思えました。

○秋山委員 東京書籍は、コミュニケーション活動に重点を置かれたということと、やはり、各ユニットで目的がはっきりしていて、取り組みやすいのではと思えました。

開隆堂についても、コミュニケーション活動へのスムーズな移行が図れるような工夫もされている。それから、会話重視な教科書も意識されている部分もあり、この2社に絞った中で、選択していけばいいと思います。

○武蔵委員長 学校図書も、非常に工夫されていて、一般動詞から入っています。Be動詞ではない、会話主体の所から入っているという点で工夫されていると思えました。

いろいろなバランスを考えると、東京書籍がいいという気がします。皆さんのほうからは東京書籍、開隆堂と、大体この2社の名前が上がってきています。

この2社に絞って、選びたいと思いますがよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 さらに付け加えるご意見のある方はいらっしゃいませんか。

○渡邊委員 東京書籍は、今、ここの單元ではこういう文法を学んでいるということを生徒に理解させながら、指導していける理解しやすい形という感じがしました。

○武蔵委員長 セクションごとの目的がはっきりしていると思えます。

○大橋委員 私も同様に感じておりますが、先ほど2つの教科書について工夫がなされているというふうに申し上げました。その2社を比べると、生徒への配慮、それから今、渡邊委員からお話のありました、パートごとの授業目的の明確さということを考えると、東京書籍の教科書を推奨したいと思います。

○武蔵委員長 東京書籍ということで、皆さんのほうから、お声が上がっておりますが、よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、英語につきましては、東京書籍ということで、決定をさせてい

たきます。

それでは、最後になりますが、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について、ご意見をいただきたいと思います。その前に説明をお願いいたします。

○兼平指導室長 学校教育法附則第9条に規定する、教科用図書の採択については、採択基準に示していますように、学習指導要領の趣旨を踏まえるとともに、文部科学省検定済教科書及び著作教科書の下学年用、他の障がい用の著作教科書、一般図書から採択できることになっていますので、この度は、それらについての調査研究を進めてきました。

以上でございます。

○武蔵委員長 それでは、この件につきまして、皆さんからご意見をいただきたいと思いますが。

○秋山委員 特別支援教育においては、子どもたちの程度に合わせた教科書が必要になってくるということで、ある程度の選択肢の中から、現場においてきちんとその子に合わせて選択していただければ、ありがたいかなと思います。

○大橋委員 先ほどの室長の説明、また、秋山委員の述べられた内容と同意見ですが、学校教育法附則第9条に規定する教科書は、採択参考資料に示された図書にあるように、いずれも子ども側に立っており、生徒に適切なものと考えております。

○武蔵委員長 はい、これにつきましては、採択参考資料に示された図書を採択するという事です。よろしいですか。

○兼平指導室長 先ほど申し上げましたとおり、文部科学省検定済教科書、それから、著作教科書の下学年用と、その他の障がい用の教科書を含め、一般図書についてもということでございます。

○武蔵委員長 はい。ただ今説明がありましたとおり、決定をしたいと思いますよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 はい、それではそのように決定をさせていただきます。

それでは、これで全ての教科用図書の採択について決定をいたしました。

確認をしたいと思いますので、指導室長のほうから発表をお願いいたします。

○兼平指導室長 種目ごとに採択をいただきました、平成28年度から使用する中学校用教科用図書について、次のように確認をさせていただきます。

国語科、光村図書。国語科書写、教育出版。社会科地理、教育出版。社会科歴史、教育出版。社会科公民、教育出版。地図、帝国書院。数学科、東京書籍。理科、教育出版。音楽、教育出版。美術、光村図書。保健体育、学研教育みらい。技術、東京書籍。家庭、東京書籍。英語、東京書籍。そして、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書は、いずれも、適当である。

以上、確認をさせていただきます。

○武蔵委員長 はい、よろしいですね。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、そのように決定をして、本日の議案については終了したいと思います。

続きます、その他に移りたいと思います。

委員の皆様から何かございませんか。

事務局のほうから何かございますか。

それでは、ないということでございます。

以上をもちまして、第6回教育委員会臨時会を終了させていただきます。

長時間ご苦勞様でした。

午後3時19分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第15条の規定により、ここに署名する。

署名委員